

- 日時：2023年11月28日(火) 午後6時30分から午後8時30分まで
- 会場：丸の内駅 アレックスビル会議室
- 出席者：大塚耕平、横井俊広、小縣徹男、近藤安彦、河村禎之、岡田三千雄、大下孝、長谷川太一、若松文彦、大家浩靖、神谷幸次、渡邊裕吉、後藤春幸、近藤努、戸川太輔、高垣政和、石川裕貴、大津聡、水越義雄、守屋一郎、縄田亮太、石原照三、浅井貞人、後藤圭三、桑村明美、西川浩然、脇坂康彦、石川和子、奥村勝己、鬼頭勝政 以上30名
- 委任状：廣田修二、以上1名
- 欠席：－
- 陪席者：事務局員【今井富美江、竹島優太、岡本真由子】

司 会：小縣専務理事

## 表彰披露

燃ゆる感動かごしま国体ー特別国民体育大会ー競技別男女総合成績 第7位

## 1 開 会

## 2 挨拶【大塚会長】

春高バレー代表決勝戦を観戦し、エントリオ開催の定着と高校生のよい目標となっていると感じた。会場提供のウルフドッグス名古屋に感謝申し上げる。東京でのアジア競技大会の会場で競技団体が協力してバレーボールの円滑な進行を図る必要性を実感した。

議 長：近藤安彦

議事録：事務局【竹島優太、岡本真由子】

## 3 審議事項

## (1) スポーツ団体ガバナンスコード セルフチェックシート【小縣専務理事ほか】

- ア 中央競技団体ガバナンスコードのもと一般スポーツ団体ガバナンスコードが存在し、法人化した本会はガバナンス強化を進めていかなければならない。
- イ 「ガバナンス」は団体自身で統治及び管理、「コンプライアンス」は法令遵守である。法令遵守により団体統治及び管理が基本的な考え方とされている。
- ウ ガバナンスコードは具体的な統治及び管理を進める規程であり、組織はこれに基づき運営を行っていく必要がある。
- エ ガバナンスコードに基づきABC評価とコメント記載により本会のセルフチェックシートを作成し(公財)愛知県スポーツ協会へ提出する。この提出は、今後の予算編成に影響する。
- オ 小学生の活動でのコンプライアンス違反は、全国的な課題である。
- カ 本会は理事構成や組織構築に課題があり、(公財)日本バレーボール協会を参考にガバナンスへ取り組みブラッシュアップが必要である。
- キ セルフチェックシートは、ホームページに掲載する。

【ガバナンスコード、セルフチェックシートについて諮り承認】

## (2) 愛知バレーボール FES2023 収支【小縣専務理事】

- ア 本会のミッション・ビジョン・バリューに基づいてイベント開催し、バレーボールを気軽に楽しむ環境を提供し、地域への貢献を重視している。
- イ 小学生から一般男女まで幅広いカテゴリーを対象にした体験会を開催した。
- ウ エキシビジョンマッチでは、トークショーを含み、チームOB、OGが解説を担当した。また、体験会参加者はマッチコートに直接座って観戦することも大変好評であった。
- エ SNSやHPでの告知でイベントを展開し、入場無料で実施した。次年度は有料で検討している。
- オ アンケートからエキシビジョンマッチ観戦を「来年も参加したい」や「有料でも参加したい」という結果であり、体験会や選手とのふれあいも高評価であった。
- カ 来年度のイベント構成や日程、費用についての検討中である。本会のリソース確保が運営課題である。

【これについて諮り承認】

(3) 令和5年度(公財)愛知県スポーツ協会表彰候補者の推薦【大下事務局長】

- ア スポーツ栄光賞 優秀選手・監督賞は、国際及び国内大会の戦績から推薦
- イ スポーツ功労賞 名古屋支部の後藤圭三氏、東三河支部の黒田伸浩氏を推薦

【これについて諮り承認】

4 報告事項

(1) 専務理事【小縣専務理事】

ア 春高代表決定戦

- (ア) 11月23日に終了し、前日にチケットが完売した。応援団の入れ替えを含め3387人が観戦し、2年連続で観戦制限なしの開催が実現した。
- (イ) チケット代を300円値上げし、小中高校生向けに優待席を500円で200席設けた。
- (ウ) エントリオでの開催が定着し、テレビ放映も行われVリーグとは異なる観客であった。
- (エ) 全国高体連バレーボール専門部長やVリーグ関係者も観戦にこられた。
- (オ) 春高代表決定戦広報は、広報委員会の栗田氏の協力で行い、大会ドラマの魅力を広く伝えることができた。

イ アジアパラ大会

- (ア) アジア大会後に開催が正式に決定した。
- (イ) 本会は審判派遣等で協力を依頼されている。
- (ウ) アジア大会組織委員会との具体的な関わり方は2024年に詳細が把握できる見通しである。

(2) 財務検討委員会

第5回報告【岡田委員長】

- ア 参加費改定は、ホームページ掲載とMRS配信を計画している。
- イ 市販の会計システムを活用した業務改善を審議している。

(3) 事務局【大下事務局長】

ア 2023年度全日本9人制バレーボール実業団男女選手権大会収支決算 第4回理事会資料P6 JVAの監査も終了し、改めて資料にて報告する。

イ 愛知県スポーツ顕彰

愛知県スポーツ局からアジア競技大会出場の5名表彰の報告があった。

ウ Jvamrs 配賦金

資料のとおり連盟配賦金を12月に会計から振り込む。

エ 予算、決算、監査日程

- (ア) 各支部及び各委員会は、資料の日程のとおり事業計画、予算案、事業報告、収支報告等の準備をお願いする。
- (イ) 事業報告書と収支報告書を4月12日(金)提出であるが、若干早めることがある。

オ 2024年度正会員登録日程(案)

- (ア) 資料の日程で進め、3月上旬から登録開始予定である。
- (イ) ホームページ掲載及びMRS配信文書は、資料のとおりである。最終確認し周知していきたい。

カ 2023VNL 収支

2月の第5回理事会で報告する。

(4) 審判委員会【戸川審判委員長】

ア 令和5年度審判員資格認定講習会

- (ア) 資料のとおり講習会を開催した。参加者74名中65名を最終認定者とした。
- (イ) 認定者の各連盟で活躍を期待する。県内大会又は国際大会を運営する審判員となることも期待する。

イ 令和5年度名誉審判員推薦について

- (ア) 各連盟の審判委員長に候補者推薦を依頼している。
- (イ) 該当者がいる場合は、各連盟審判委員長と連絡を取り速やかに報告してほしい。

(5) 強化委員会【高垣強化委員長】

燃ゆる感動かごしま国体-特別国民体育大会-結果報告  
表彰披露にて報告とする。

(6) 指導普及委員会【石川裕貴指導普及委員長】

ア 2023年度AVA主催 バレーボール指導者講習会

(ア) 12月16日(土)名古屋市立西陵高校にて指導者講習会を開催する。

(イ) ホームページ掲載したが現在参加者数は、0名である。さまざまな機会で広報宣伝し参加者を募る。

イ 2023年度U14クラブチャンピオンシップ参加チーム一覧

(ア) 男女ともヤングクラブ連盟所属チーム参加数が中小体連選抜チーム数を超えた。

(イ) 女子参加チーム数は31で、トーナメント作成上32チームとしたいため、AVAバレーボール教室参加の中学生で「AVAバレーボール教室チーム」を結成・参加させ運営する。

(ウ) 「AVAバレーボール教室チーム」の結成前に、ヤングクラブ連盟や中小体連に依頼したが、指導者不足、中小体連規程により選抜チームではなく合同チームとなる点等から追加1チームを募ることはできなかった。

(エ) 次年度の運営について

a 女子 参加チーム数が過半数を超えたカテゴリーの使用球とネットの高さで大会運営とし、ヤングクラブ連盟の参加数が多いため5号球、2m24cmの高さで実施したい。

b 男子 東海大会規程に合わせて、4号球、2m30cmの高さで実施する。

ウ バレーボール教室

(ア) 今回は、募集人数を95名に増員した。

(イ) 来年度以降も、定員を変更せず教室開催できるように計画している。

(7) 大学専門部【縄田大学専門部長】

各大会の結果報告

ア 愛知大学連盟主催大会、東海大学連盟主催大会、西日本インカレの結果は資料のとおりである。

イ 全日本インカレに男子8チーム、女子5チームが出場している。

ウ 男子は、8チーム中7チームが敗退し愛知大学が勝ち残っている。女子は至学館大学が勝ち残り4チームが敗退した。

(8) ママさん専門部【石川和子ママさん専門部長】

10月～11月21日までの大会結果

ア 資料のとおり各チームが県代表で東海大会や全国大会に出場した。

イ 結果は資料記載のとおりである。

5 次回理事会

(1) 日時 2024年2月20日(火) 午後6時30分から午後8時30分まで

(2) 会場 丸の内アレックスビル会議室

6 挨拶【横井副会長】

Vリーグ運営の御協力に感謝申し上げます。春高バレー集客がよくVリーグの集客向上に工夫が必要と考えている。理事の皆さまは各層を指導される立場にあるため、コンプライアンスの重要性を理解し、指導していただきたい。バレーボールの楽しさを広め、本会からのバレーボールを盛り上げたいと考える。